

SSKS JAPCニュース

2019年1月発行 第42号

特定非営利活動法人日本失語症協議会機関誌
『言葉の海』 新聞版
協議会ホームページ URL : <http://japc.info/>



編集人 特定非営利活動法人
日本失語症協議会
(旧全国失語症友の会連合会)
〒167-0051
東京都杉並区荻窪 5-14-5-405
Tel 03-5335-9756
fax 03-5335-9757
1冊 400円
発行人 特定非営利活動法人
障害者定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
Tel 03-6277-9611 fax 03-6277-9555

巻頭言

意思疎通支援者養成事業の進展に向けて



一般社団法人
日本言語聴覚士協会
副会長
立石 雅子

本年度から、いよいよ失語症者向け意思疎通支援事業が都道府県を実施主体として始まりました。11の都道府県で支援者養成が開始されました。失語症のある方が地域に出て様々な活動を行う際の支援者を養成するというこの事業は言語聴覚士にこそできる活動であると協会では考えています。失語症のある方の社会参加促進をはかるだけでなく、失語症について一般の理解を深めることもできます。

この事業を成功に導くためには自治体、言語聴覚士会、そして当事者である失語症友の会の三者の連携が欠かせません。自治体は養成事業、派遣事業の実施、そして失語症サロンの開催を行います。各地域の言語聴覚士会は養成事業への講師派遣や失語症サロンへの人的協力などを行います。そして失語症友の会など当事者の方々は、失語症サロンへの参

加や地域の失語症者への呼びかけを行うという具合です。

来年度から養成された支援者の派遣事業が開始されます。本来は派遣については市町村が事業主体となる地域生活支援事業ですが、厚生労働省は「地域生活支援事業」の実施要綱には、「都道府県が地域の実情を勘案して、市町村に代わって市町村地域生活支援事業の一部を実施することができるものとする」と記載されているところから、都道府県も派遣に関わることができるとの立場をとっています。このことがまだ十分に浸透していないため、都道府県の中には派遣事業に対して積極的ではないところも散見されます。今後、折に触れ、この判断を厚労省から都道府県に伝えていただくことが望まれます。

今号は、『失語症者向け意思疎通支援事業』の特集です。1p 巻頭言・10p の四方山話・そして12p から15p にまとめて記載があります。生きた事業になるようにしていきたいですね。

そのためには、各地で声を上げなくてはいけないのですがなかなか思いを訴えられないのが失語症のつらさですがそんな時、どうかこの「言葉の海」を持って行って見せてください。そんな使い方でもできると思います。

友の会だより

*北海道失語症友の会「北の会」

5月10日：仲野会長「北海道医療大学で講演」

北海道失語症友の会「北の会」仲野 隆 会長よる 北海道医療大学でのご講演

北海道医療大学 リハビリテーション科学部・心理科学部
言語聴覚療法学科 黒崎 芳子

平成30年5月10日に北海道医療大学（当別キャンパス）において、北海道失語症友の会「北の会」仲野隆会長による、講演が行われました。講演では、失語症を発症された時のことばの状況をお話頂き、社会生活において直面される問題について、「失語症の人の生活のしづらさに関する調査」（平成25年 失語症協議会）のデータをお示し頂きながら説明をして頂きました。失語症者の方は、「失語症は見た目にはわからない障害であり周囲の理解を得ることが大変であること」「ことばに障害があるだけで、子ども扱いするようなことがあってはならない」といったお話がありました。29年度から「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」が制定されたことについても言及され、失語症によって、社会の場で不利益を被ることがないよう、周囲と協力し失語症への理解を深めてゆくことが重要であるということをお伝え頂きました。



講演では、リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の学生が、熱心に講演に聴き入っており、講演後の、「これまでの訓練で、嬉しかったこと。出来るようになって良かったと思うこと。」などについて質問がありました。仲野会長からは「STの先生から、良くなっているとほめられることが励みになった。電話での会話ができるようになったのが良かった」といったお話がありました。その他、学生からは、公共機関の利用や災害時など失語症の方が困難や不安を抱きながら生活していることを実感したという感想が聞かれました。本講演は、毎年、学生から大変勉強になったという声が多く寄せられ、本年度も言語聴覚士を目指す学生にとって、大変有意義な機会を与えて頂きました。

講演では、リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の学生が、熱心に講演に聴き入っており、講演後の、「これまでの訓練で、嬉しかったこと。出来るようになって良かったと思うこと。」などについて質問がありました。仲野会長からは「STの先生から、良くなっているとほめられることが励みになった。電話での会話ができるようになったのが良かった」といったお話がありました。その他、学生からは、公共機関の利用や災害時など失語症の方が困難や不安を抱きながら生活していることを実感したという感想が聞かれました。本講演は、毎年、学生から大変勉強になったという声が多く寄せられ、本年度も言語聴覚士を目指す学生にとって、大変有意義な機会を与えて頂きました。



6月2日：第31回定期総会

6月北の会月例会：

北海道リハビリテーション大学校
「旅の思い出」

6月北の会月例：札幌宮の沢脳神経外科病院
「口の体操」「ミニ玉入れ」「歌」

7月北の会月例会：愛全病院
「都道府県当てクイズ」

7月北の会月例会札幌山の上病院
「サッカーボーリング」

8月北の会月例会：柏葉脳神経外科病院
「風船バレー」

8月北の会月例会：札幌明日佳病院
「平成クイズ」

*オホーツク失語症さわやか友の会

（北海道失語症友の会「北の会」支部）

6月22日例会：参加者21名

集団リハ「お絵かき」

7月24日例会：参加者21名

寿司ゲーム？

8月28日第5回バス研修 参加者23名

「帯広卯月スイートピアガーデン」

*青森失語症友の会「ちょちゃべの会」

10月28日定例会：参加者13名、群読

11月25日定例会：参加者15名

紙粘土工作

12月16日クリスマス会：参加者12名

ハンドベル・、ゲーム、プレゼント交換

*石川県失語症友の会

9月22日～23日

石川県失語症友の会合同研修会

平成30年度 石川県失語症友の会合同研修会の報告

今年の合同研修会は9月22日(土)～23日(日)と羽咋市の休暇村能登千里浜で開催しました。今年は、金沢本部から新会員の2組のご夫妻が参加されました。参加者は会員10名、家族8名で18名でした。

3時30分から1時間言語訓練と家族会が行われました。

今年の言語訓練は音楽療法で、金沢こども医療福祉センター竹元先生でした。楽しくて時間の経つのを忘れるくらいでした。家族会はいつものように和気あいあいと日頃の様子を話し合いました。

6時からは懇親会です。平野副会長の司会で宴会が始まりました。岩島会長の挨拶があり、その後、会員同士話し合ったり、カラオケで歌ったりして楽しみました。

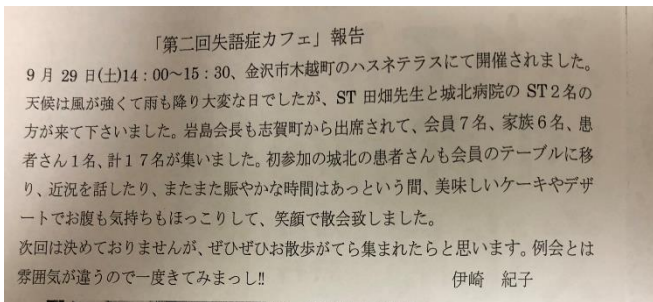
宴会の時間を告げられると「希望の朝」を歌ってから、表理事の閉会の挨拶でお開きとなりました。翌日、朝食後集合写真を撮ってから、金沢市から来たバスに乗り羽咋市道の駅能登千里浜へ立ち寄り買い物をして帰路につきました。



平成30年9月22日(土)～23日(日)

石川県失語症友の会合同研修会 休暇村能登千里浜にて

金沢本部・西支部



10月20日例会：参加者10名
ST自己紹介・会員自己紹介・「秋」についてフリートーク、歌・体操、ゲーム、「希望の朝」斉唱

11月17日例会：参加者8名
ST自己紹介・会員自己紹介・箱の中身当てゲーム、PACEゲーム、嚙下体操、間違え探し、文字の並び替えクイズ、歌詞の穴うめクイズ、「希望の朝」斉唱

加賀支部

10月20日例会：参加者4名
近況報告、単語探し、音楽で当てろ、パネル返し、「希望の朝」斉唱

11月17日例会：参加者6名
近況報告、次回予定に打ち合わせ、脳トレ(間違い探し)、「希望の朝」斉唱

能登支部

10月20日例会：参加者3名
近況報告・将来になりたかったものについて、文章穴うめ、文の理解、「希望の朝」斉唱

11月17日例会：参加者4名
クリスマス会打ち合わせ、シークワーズ、10月19日例会：参加者6名

近況報告、次回運動会の打ち合わせ、忘年会の日程検討

11月10日例会：参加者15名 風船バレーボール、次回忘年会について

ジェスチャークイズ、すごろく、語想起課題、「希望の朝」斉唱

珠洲支部

10月19日例会：参加者6名
近況報告、次回運動会の打ち合わせ、忘年会の日程検討

11月10日例会：参加者15名

風船バレーボール、次回忘年会について

*福井県失語症友の会

9月15日例会：参加者6名、近況報告、
10月21~22日1泊研修旅行：参加者10名
飛騨高山祭りの森・高山古い町並み散策
【嶺南支部】

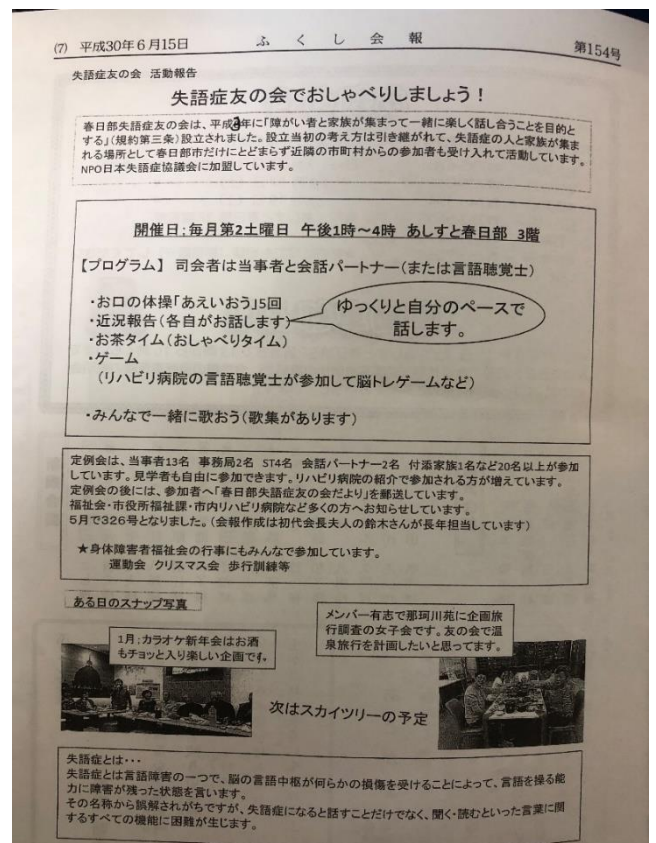
9月15日例会：参加者15名、作品作り
10月20日例会：参加者12名
敦賀市子どもの国プラネタリウム

*茨城県失語症友の会「葵の会」

8月26日例会：参加者26名、会長挨拶、近況報告、夏の言葉ビンゴゲーム、歌、葵の会アベマリアをラテン語でうたう！
9月23日例会：参加者27名、会長挨拶、近況報告、どんな漢字ができるかな？、歌、葵の会アベマリアをラテン語でうたう！

*埼玉県・春日部失語症友の会

春日部市身体障害者福祉会会報に紹介されました。



11月10日例会：司会挨拶、発声練習、近況報告、休憩・お茶、お知らせ、ゲーム

***埼玉県・大宮失語症友の会**

- 7月7日例会：近況報告、スイカの種飛ばし競争
- 8月31日バス遠足：狭山の宮信ぶどう園・サイボクナム
- 9月15日例会：近況報告、テーマ「猛暑をこう乗り切った」
- 10月20日例会：近況報告、テーマ「秋と言えばこれだ」



言葉

- 10月22日例会：参加者44名
開会の言葉、新しく来た方、皆でゆっくり話そう、保健師さんの話：インフルエンザ口の体操、ゲーム風船送り、合唱、閉会の言葉
- 11月19日例会：参加者38名
開会の言葉、新しく来た方、皆でゆっくり話そう、保健師さんの話：ぎっくり腰、口の体操、ピンポン球送りゲーム、合唱、閉会の言葉
- 10月16~21日「夢ふたたび作品展」

***千葉県・市川失語症友の会「げんき会」**

- 6月18日例会：参加者47名
開会の言葉、近況報告、保健師さんの話「めまい」、口の体操、伝言ゲーム、合唱、閉会の言葉
- 6月26日日帰り研修バス旅行：参加37名
葛西臨海水族館、新浦安オリエンタルホテル(昼食)、道の駅市川
- 7月23日例会：参加者40名
開会の言葉、新しく来た方、皆でゆっくり話そう、保健師さんのお話、口の体操、気功、県名当てゲーム、合唱、閉会の言葉
- 8月27日例会：参加者68名
開会の言葉、新しく来た方、役員会より、口の体操、納涼まつり「柳扇会さんの踊り」、パン食い競争、合唱
- 9月25日例会：参加者36名
開会の言葉、皆でひとこと話そう、気功、口の体操、ゲームしりとり、合唱、閉会の言葉



***千葉県・千葉県東葛失語症友の会**

- 10月28日：開会挨拶、グループごとの話し合い、紹介、昼食会、リハビリ体操、コンサート、リハビリゲーム、閉会

***東京都**

大田区失語症支援の会「ひまわり会」

- 9月8日例会：参加35名
クラブ活動(麻雀)、一言スピーチ「この夏どんな夏でしたか」、ゲーム「お隣の人」

にインタビューしましょう」、ミニクラブ、土居さんの遊びリテーション、歌

10月13日例会：

クラブ活動（麻雀）、一言スピーチ「もう一度会いたい人・行きたい場所・食べたい物」、ゲーム、体操、歌

11月10日例会：参加者35名

クラブ活動（麻雀）、一言スピーチ「今思う事」、ゲーム「ニュースパズル」、ミニクラブ、土居さんの遊びリテーション、歌

***東京都・目黒区失語症友の会「椎の木の家」**

8月25日定例会：参加者23名

活動報告、予定、「私の暑さ対策」、健康アドバイス「夏を上手に乗り切るには、」

9月22日定例会：参加25名

活動報告、予定、「私の好きなスポーツ」健康アドバイス「あなたの緊急避難場所はどこ？」

10月10日秋の研修旅行：参加者22名

富士山世界遺産センターと三嶋大社

10月27日定例会：参加者18名

活動報告、予定、「私がしていた（している）仕事の話」

***東京都・江東失語症友の会「すずめの会」**

3月31日総会：参加者13名

役員決定、皆さんの一言

5月18日定例会：参加者11名

すみだ北斎美術館、イタリアンの昼食、旧安田庭園散策

7月21日定例会：参加者12名報告、近況報告、その他

9月29日定例会：参加者16名報告、近況報告、ゲーム、その他

11月10日定例会：参加者17名おやつ作り（ホットケーキ・フルーツポンチ、



***東京都・品川失語症友の会**

8月25日例会：体操、今月のテーマ「今言いたいこと」、残暑見舞いを書きましょう、歌

***東京都**

世田谷失語症友の会「花みずきの会」

9月13日371回例会：唄の集い、中島先生挨拶、連絡事項開会挨拶、テーマ「好きな食べ物飲み物」ゲーム「数字のビンゴゲーム」

10月11日「電車に乗ってお散歩会」：19名しながらわ水族館

11月8日373回例会：唄の集い、挨拶、連絡事項テーマ、開会挨拶、テーマ「お散歩会の感想」、ゲーム「言葉のビンゴゲーム」、終わりの挨拶

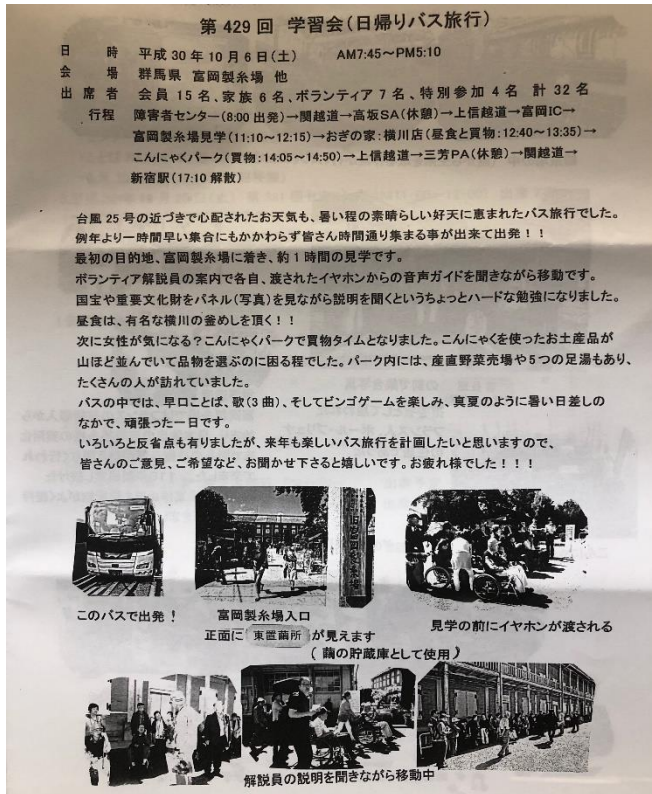
***東京都・新宿失語症友の会**

7月7日学習会：29名参加 事務局だより、書道・硬筆、お楽しみゲーム、グループジェスチャー

7月21日学習会：34名参加 書道・硬筆、グループ訓練、

8月4日定例会：40名参加 事務局だより、絵画教室、歌唱指導、写真撮影

- 8月18日学習会:31名参加
事務局だより、書道・毛筆「神社」、グループ訓練
- 9月1日学習会:34名参加
事務局だより、書道・硬筆、グループ訓練
- 9月15日学習会:31名参加
事務局だより、グループ訓練、書道硬筆
- 10月6日学習会(日帰りバス旅行)32名
群馬県富岡製糸場



- 10月20日定例会:33名参加
事務局だより、お楽しみゲーム(手工芸)、歌唱指導、写真撮影

***東京都・杉並失語症友の会**

- 8月12日例会:参加者28名、すいか割り、事務局連絡、近況報告、リハビリ、
- 9月8日例会:参加者21名
障がい者会館祭り作品完成、事務局連絡、近況報告、リハビリ、
- 10月13日例会:参加者26名
事務局連絡、近況報告、リハビリ、
- 11月10日例会:参加者31名
事務局連絡、近況報告、リハビリ、

***東京都・北多摩失語症友の会「あすなろ」**

- 7月8日例会:参加者12名
会長挨拶、連絡事項、近況報告
- 9月9日例会:参加者11名
会長挨拶、連絡事項、近況報告
- 10月14日例会:参加者10名
会長挨拶、連絡事項、近況報告

***東京都・北多摩失語症友の会「若竹」**

- 10月20日例会
- 10月21日ボランティアまつり

***神奈川県・相模原失語症友の会**

- 9月4日南の会:参加者22名、歌、身体とお口の体操、自己紹介・近況報告、休憩、音楽療法「月の沙漠」、連絡事項
- 9月15日中央の会:参加者17名、開会の歌、自己紹介・近況報告、チーム対抗ゲーム、歌、閉会の歌、連絡事項
- 10月2日南の会:歌、お口の体操、自己紹介・近況報告、ゲーム、休憩、音楽療法、連絡事項、
- 10月20日中央の会:開会の歌、自己紹介・近況報告、ゲーム、歌、閉会の歌、連絡事項
- 11月6日南の会:参加者23名、歌、身体とお口の体操、自己紹介・近況報告、秋の食べ物、休憩、音楽療法、連絡事項
- 11月17日中央の会:参加者22名、開会の歌、自己紹介・近況報告、コクニサイズ、歌、閉会の歌、連絡事項

***神奈川県・藤沢言語友の会**

- 8月19日第349回定例会:参加者16名
自己紹介、近況報告「花火の思い出」、楽しい音楽会、書き取り、言語訓練ゲーム、連絡事項
- 9月16日第350回定例会:参加者18名
自己紹介、近況報告「我が家の防災対策」、楽しい音楽会(この時間に意思疎通支援実習2名協力する)、書き取り、一口健康メモ、連絡事項

11月18日第352回定例会：参加者10名
「大船フラワーセンター」野外訓練

11月4日例会：参加者16名
歌「紅葉」、リラックス体操・発声、近況報告、三択クイズ「沢田研二」、歌「ことばをこえて」、記念撮影

***神奈川県・大和言語さくらの会**

8月4日520回定例会：参加者21名
ラジオ体操、療法的音楽、会長より、県連より、8月の誕生日の方、

10月20日523回定例会：参加者23名
ラジオ体操、お口の体操、言語聴覚士より、会長より、県連より、音楽療法係より、前回司会者から、8月の誕生日の方、短文集

11月3日524回定例会：参加者25名
ラジオ体操、音楽的療法、会長より、言語聴覚士斉藤先生のご指導、歌

11月17日525回定例会：参加者23名
ラジオ体操、お口の体操、しりとり、唄、11月の誕生日の方、

11月24日茅ヶ崎リハビリテーション専門学校「H30年度「失語症を知ろう！ふれ合おう！」3名参加

***山梨県・東山地区失語症友の会**

7月22日例会：参加者19名
カレー作り

***大阪ふれあいの会**

9月8日例会：参加20名
音楽療法、連絡事項

10月20日例会：
11月17日例会：参加19名
絵本、交流会、

***奈良県脳卒中友の会「桜の会」**

9月23日「なら言語聴覚の日の集い2018」
合唱団コンサート 出演者22名 9曲
合唱団練習日10月14日、11月18日

***和歌山県失語症友の会「紀の国会」**

6月例会：自分史講座
8月例会：ゲーム大会
「都道府県ゲーム」
9月例会：講演会「薬との上手なつきあい方」



松江圏域失語症友の会「だんだんトークの会」

5月13日陶芸教室：参加者11名

早く仕上がったお子様が、興味深そうに見に来られ、子供の目でのアドバイスもあり、にぎやかに時間が過ぎました。

作品は乾燥後、焼成、釉薬掛け、本焼と先生の神の手も加わり、世界に一つだけの作品が完成しました。
1回目から毎回参加されている人は、13回目になりますね。素晴らしいです。
総会・交流会時に展示し、皆様にご覧いただきました。
小松原先生ありがとうございました。(勝部京子)

5月27日失語症者意思疎通支援事業講演会
5月29日桑原先生を囲んで
6月10日筆で遊ぼう
7月6日地域リハビリテーション推進交流会・総会
8月5日定例昼食会
8月8日だんだんサロン：交流・情報交換・会報編集、行事について

平成30年7月22日(日)、いちのみや桃の里ふれあい文化会館調理室にて10時~13時まで例会が行われました。会員さん15名、ボランティア2名、ST2名の計19名が集まりました。今回は、昨年に引き続き恒例行事になったカレー作りです。とても楽しみにしていた天野さんご夫妻、村瀬さんは参加できず残念。それでも天野さんから「使ってください」と、愛情を込めて作って玉ねぎ・じゃがいも・人参が届き、ありがたく頂戴いたしました。

2つのグループに分かれて、いよいよカレー作りがはじまりました。野菜は皮むく人、切る人と作業分担——とても手際がよく上手に切られていました。野菜とお肉を炒めて煮込んでいる間にリラックス体操と発声をしました。暑い時期なので散歩もあまりできませんが、少し体を動かすとほぐれて気持ちがいいですね。カレー粉を加えてさらに煮込み、様子をみながら味見です。お互いの鍋を見比べたり、おいしいカレーの匂いもしてきた頃にご飯も炊きました。お米は、梶原さんが担当。水加減もバッチリのおいしいご飯も炊きました。昨年はお米1升5合で少し多かったので、今回は1升炊いたので、少しご飯が足りなかったですね。らっきょうと福神漬は廣瀬さんと梶原さんが均等にうまく器に分けてくれました。

お皿にカレーを盛って、いよいよ食べる時間です。「おいしい！」の音がたくさん聞かれ、おかわりをしたり、別な鍋のカレーを試食したりお腹いっぱいになりました。皆さんで作って食べるカレーはやっぱりおいしいですね。また、来年のカレー作りを楽しみに、「言葉をこえて」を歌い、写真撮影をして会は終了となりました。

9月2日例会：参加者15名
歌「月」、リラックス体操・発声、近況報告、三択クイズ「アイスクリームクイズ」「坂元クイズ」、歌「ことばをこえて」、記念撮影

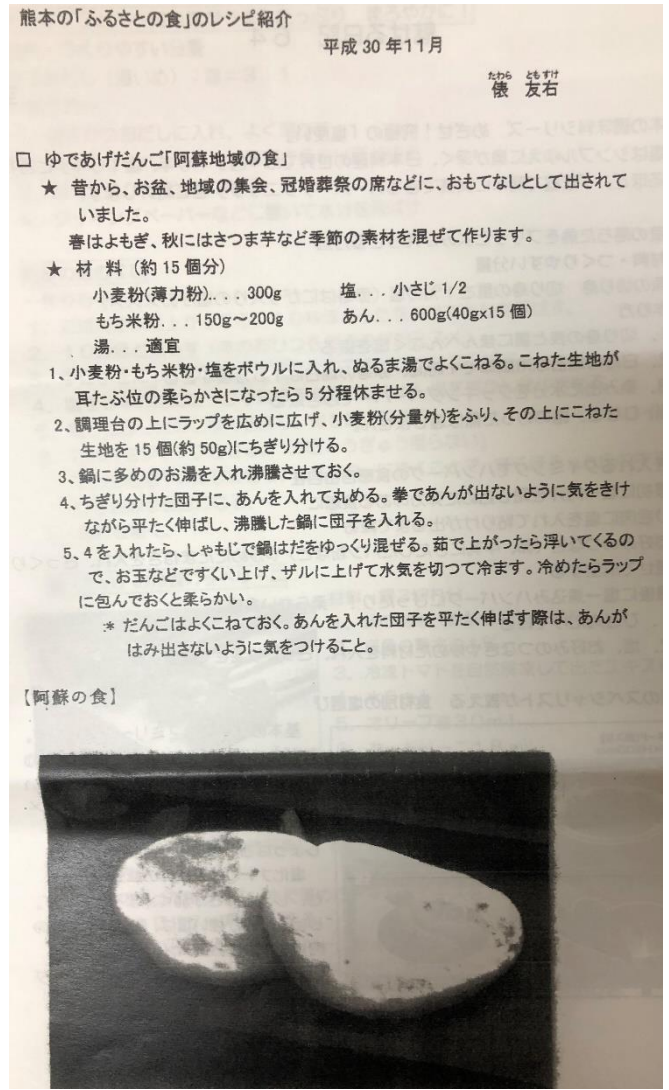
- 8月19日失語症者意思疎通支援事業講演会
- 9月2日定例昼食会：食事をしながら交流会
- 9月19日だんだんサロン：会報発行作業、
情報交換、
- 10月7日定例昼食会：食事をしながら交流会
- 10月17日だんだんサロン：11月の行事「病院訪問交流会」について情報交換

***熊本県・熊本たくま会**

- 8月10日例会：参加者36名
会食、会長挨拶、山本ST挨拶、失語症者向け意思疎通支援者養成講座、たくま会の歌、リラックス体操、自己紹介、ゲーム、言葉に活きる(歌)、閉会、
- 9月14日例会：参加者31名
会食、会長挨拶、たくま会の歌、リラックス体操、失語症者向け意思疎通支援者養成講座(他己紹介)、ゲーム、言葉に活きる(歌)、閉会、
- 10月12日足を伸ばそう会：参加者30名
病院出発、会長挨拶、詫間会の唄唱和、三角西港見学、会食、レクリエーション、買い物(藍のあまくさ村)、天城橋通過、病院到着、解散

事務局だより

- 10月6日(土)第1回福島県失語症車の集い(園田)
- 10月16日(日)ワックル 木村、志村、進藤、藤原、亀澤 園田
- 10月22日(月)
都身障高次脳機能障害就労セミナー(園田)
- 11月16日(金)第2回失語症理解講座 亀澤、木村、志村、進藤、藤原、園田
- 11月18日(日)家族ワックル 進藤、藤原、木村、園田
- 11月23日(金)～25日(日)日本神経治療学会学会学術集会 木村、志村、進藤、園田



- 12月5日(火)立憲民主党つながるフェスティバル(障害者プロジェクトチーム主催)木村、志村、進藤、園田
- 12月18日(火)～20日(木)大阪市テクノエイド障害者支援機器交流会(田中昌明、田中佳代子、森本、園田)
- 12月16日(日)ワックル 木村、志村、進藤、藤原、亀澤
- 1月4日(土)大阪、脳卒中協会法案成立の会(園田)
- 1月9日(水)～10日(木)福岡市テクノエイド支援機器交流会(園田)
- 1月20日(日)家族ワックル
木村、進藤、藤原、園田

皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

平成30年9月から12月までの御寄付を頂戴した方（順不同・敬称略）

事務所の諸経費につかわせていただきます。

「失語症の訓練教材-140の教材と活用表第2版」の著者一同 三浦春樹 三浦富三子

ゆうちょ寄付者のお名前です。

（主に毎月の事務所家賃の支払い資金にさせていただいております。）

（順不同・敬称略）お名前記載のない場合は事務所まで御連絡をお願いいたします。

- | | | | | | | | |
|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|--------|-------|
| 赤嶺愛子 | 足立博子 | 阿部晃 | 阿部裕実 | 生島文子 | 伊崎祥造 | 石川守 | 市川正美 |
| 伊藤世紀 | 伊藤聖子 | 岩寄克己 | 岩島満夫 | 出澤登美子 | 内山幸子 | 梅津今日子 | 海老沢敬 |
| 小川弥生 | 大城貴代子 | 大塚善一 | 大前美由紀 | 大西康史 | 大西知子 | 岡田充弘 | 岡田理砂子 |
| 表聖司 | 大類和之 | 片岡博道 | 河島進 | 川口安弘 | 川崎靖 | 神田知佳 | 神田裕 |
| 木村高子 | 久保島好之 | 黒木邦俊 | 児島その | 後藤悦子 | 小柳信善 | 斎藤敏文 | 坂田雄治 |
| 佐々木正博 | 笹沼澄子 | 佐藤聡子 | 佐藤誠一 | 篠崎路子 | 柴田すが子 | 志摩進 | 清水江美子 |
| 志村孝子 | 志村哲 | 進藤雄二 | 進藤美也子 | 杉尾恭子 | 鈴木弘二 | 須田悦子 | 園田暎良 |
| 園田尚美 | 高倉幸次郎 | 高倉正子 | 高橋英子 | 竹田和代 | 田中加代子 | 田中英明 | 田中昌明 |
| 田中真寿美 | 田中達男 | 谷口博明 | 手塚京子 | 戸村純子 | 中村光 | 中川智之 | 長屋洋子 |
| 南部恒夫 | 沼崎知江子 | 萩原博美 | 橋本一夫 | 橋本秀久 | 橋本ゆき | 橋本幸枝 | 濱本王枝 |
| 早川晴美 | 林静子 | 林百合子 | 原泰子 | 比嘉なな子 | 平澤哲哉 | 古山久子 | 星野トヨコ |
| 北海道失語症友の会 | | 堀間力夫 | 益尾禎子 | 松本祐治 | 丸井美恵子 | 間々田佳代子 | 宮越くに |
| 水上千鶴 | 水上盛一 | 目黒周子 | 森永京子 | 森山満敏 | 八島三男 | 山口 礼子 | 山本剛正 |
| 山本弘子 | 横井美代子 | 横田清 | 横田聖子 | 横森美知子 | 横山眞太郎 | 吉岡昭 | 吉田玲子 |
| 吉村正夫 | 綿森淑子 | 渡瀬とし子 | (合計 114名) | | | | |

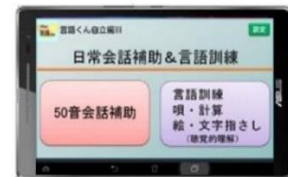
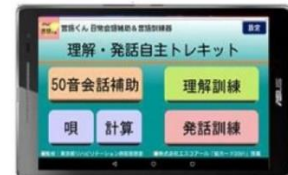
携帯用会話補助装置&言語訓練器 「言語くん」



ご利用者の70%が「よくなっている」と感じています

ST訓練を終了した在宅の失語症者が使える言語訓練器

- ◆(株)エスコアールの絵カード2001より、単語・短文を搭載。
- ◆軽度の患者様までお使い頂ける会話補助装置&言語訓練器！！
- ◆機能：50音会話補助・理解訓練・発話訓練・唄機能・計算機能



身体障害者手帳をお持ちの方は、定価114,480円が、各市町村の給付により「1～2割程度のご負担」で、ご購入頂けます。

※各市町村や納税額によっても自己負担額が異なりますので、お住まいの障がい福祉課へご確認ください。

《・・・まずは、10日間の無料お試しから・・・》

★理解・発話自主トレキット（基本編）★自立編Ⅲ（応用編）からお選びください。

連載・言語聴覚士の四方山話



平成三十年春、厚生労働省より全国の都道府県に通知があった『失語症者向け意思疎通支援者養成事業』は、一〇か所で開催されていることが確認されています(十月時点)。来年度にかけてあと十六〜八カ所が始めようとしているとの話です。とはいえ、まだ全国津々浦々というわけにはいきませんが、現場の言語聴覚士、都道府県士会の意識は少しずつ変わってきています。そして今難しいと、あちらこちらで聞かれるのは、行政側の窓口の方の認識の低さです。事業のことも失語症のことも知らないという区市町村が、まだまだ多いのです。

そこで重要になってくるのが、失語症のある人々の声です。この制度について学び、利用するために窓口で手続きをすることを考え、動くことです。いろんな方が問い合わせる、その数に意味があるということですが、でも、それが難しいのが失語症ですね。どうしましょうか。家族と、ボランティアさんと、言語聴覚士でも良いかもしれません。こういうことがうまく言えないから同行してもらっている、そういう人を公的な「意思疎通支援」という枠組みで派遣してもらえようになる、と聞いている、と伝えていく地道な活動が、思った以上に大切となりそうです。

現在東京の養成事業では、受講者が友の会に参加する実習があります。友の会と受講者都の両者にとって良い時間となっているようです。友の会での一人一人の会話がより豊かになるために、意思疎通支援者の存在が必要だな、と痛感しています。

平成三十一年(元号はどうなるでしょうね?)には、「失語症者向け意思疎通支援者養成」キャンペーン(?!?)を立ち上げ、全国の失語症のお仲間たちが、制度を学びアピールするような機会があってもいいかもしれませんね。(む)

脳トレミニ・アンコール 新春

次の文字列を、一文字ずつ飛ばして読むと、十二支の動物が出てきます。十二支を表す上の漢字と合わせてみましょう。絵のヒントを参考に考えてみてください。

(例) 子 ———— ・ねいずさみとー ↓ **ね●ず●み●** 〓

- ① 丑 ・ うみさしぎほ
- ② 寅 ・ たのつき
- ③ 卯 ・ うこしぶ
- ④ 辰 ・ うねまり
- ⑤ 巳 ・ さるるお
- ⑥ 午 ・ とだらの
- ⑦ 未 ・ とこりへ
- ⑧ 申 ・ みそ(へつびに)
- ⑨ 酉 ・ いかぬも
- ⑩ 戌 ・ ひきつれじ
- ⑪ 亥 ・ いすのふしんしり

普通の動物名の漢字はこちら：
干支(えと)の順に並んでいますので、声に出して言うてみましょう



平成三十一年の干支はこれ！ 突き進む！

脳トレ 2019新年

毎年お正月には、おせちを食べていらっしゃいますか？

だんだんおせち料理の意味を知らない人が増えている、といわれる昨今、皆さんはぜひ、その由来を今一度思い出し、有り難くいただきますよう！

① 写真の中の に入る、お節料理の名前は？ 7つだけ。
（ヒント：頭文字が出ています）

② 写真の左・枠外に、おせち料理の簡単な意味が書いてあります。どの料理のことでしょう？

* 金運
アップ！

* まめに
働けるよう
無病息災

* 喜ぶ

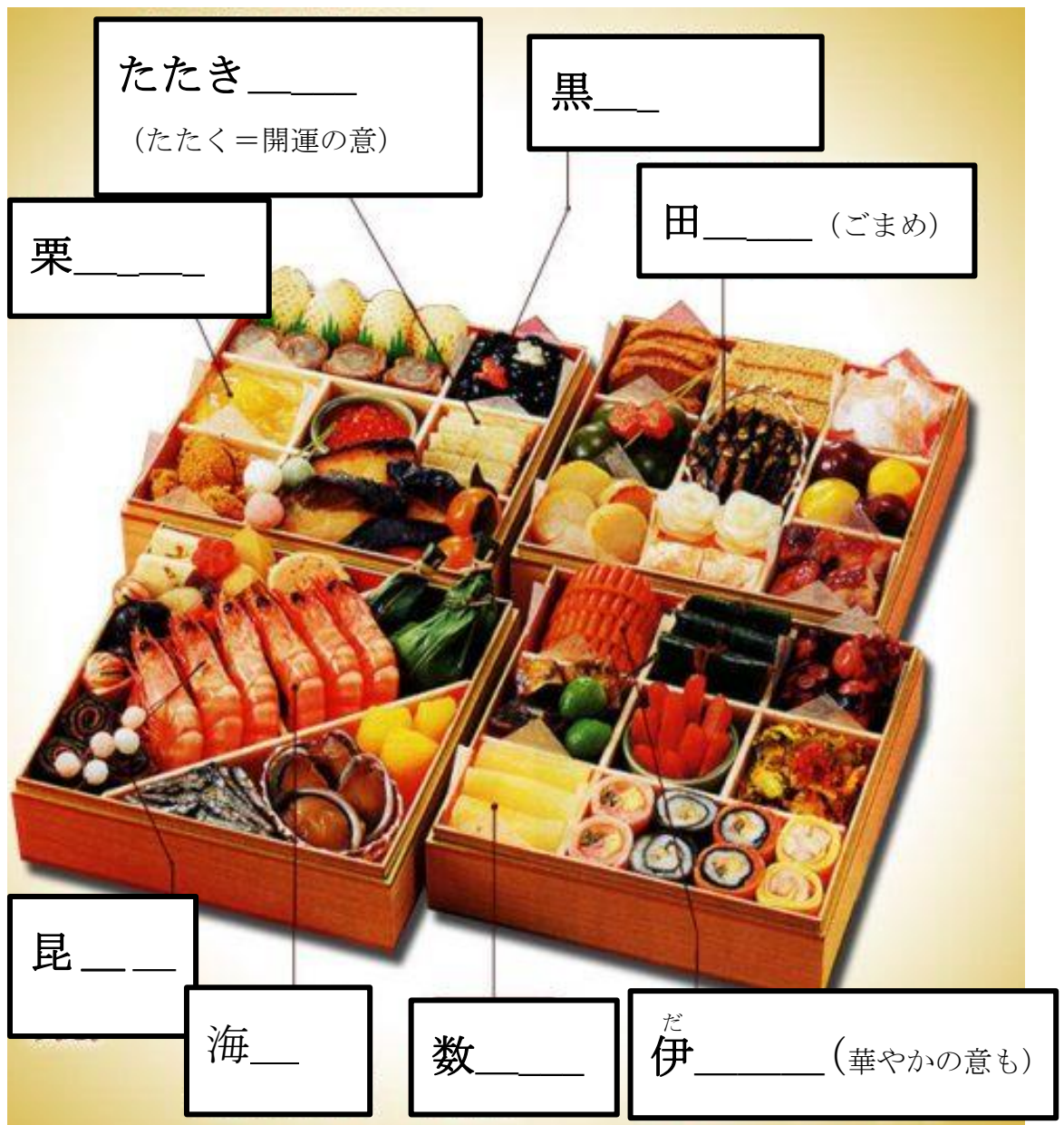
* 腰が曲が
るまで長寿

* 五穀豊穡

* 子孫繁栄

* 根を
ぐっとはり
安定

* 巻物は
勉学
勉強⇒
学業成就！



受験するお子さんやお孫さん、努力が実り、実力が発揮されますように～

（長女高3のむ）

朗報！

失語症が意思疎通支援事業 の対象になりました

失語症のある方は市区町村への利用申請を行うことで、意思疎通支援者によるコミュニケーション支援を無料で利用することができ、意思疎通支援者には報酬が支払われます。

どんなことが頼めるの？

- ☆外出の付き添い ☆買い物の付き添い ☆病院の付き添い
- ☆役所等での手続きの援助 ☆銀行等での窓口の援助
- ☆会議・友の会例会などでの援助
- ☆その他日常生活の中で意思疎通支援の必要を感じる場合

利用したいという多くの声を行政に届けて「失語症者向け意思疎通支援事業（市町村必須事業）」を推し進めましょう！！

お住まいの自治体の障害福祉課の窓口で

「私たちの町では、いつから意思疎通者の派遣が始まりますか？
私は、利用したいと考えています。」 と伝えましょう。

東京都を始め、今年度「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」が 10 箇所の都道府県で行われました。東京都の「失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」の参加者の声や講習会の実習を受け入れた「友の会」の様子をお知らせします

東京都失語症者向け意思疎通支援者養成講習会を受講して

升谷直美

4 年前に母が心原性脳梗塞の後遺症で失語症になりました。言葉が話せなくなり、字も書けなくなりました。いまだに母とコミュニケーションをどのように取れば良いのか？ 毎日試行錯誤しています。

又母は、失語症になったことで 1 人で外出できなくなりました。言語訓練、買い物、通院、公共機関の利用等の外出時は全て私が付き添っています。

失語症者は、日常生活上の外出場面において、バリアがたくさんあり 1 人ではとても不安に感じています。しかし家族が失語症者の外出時に全て付き合うのはとても大変なことです。そこで失語症者が安心して外出できるように支援したく、また家族のレスパイトとしても役立てたらと考え受講しました。講習では、失語症についての理解を深め、会話の支援を学びます。実習は友の会・サロン等で行い失語症者との会話技術を学びます。

しかし実際に受講してみて、母とのコミュニケーションをとるのも大変なのに他の失語症者への会話支援、外出支援はできるだろうか？ と不安に思うようになりました。そんな時ある本に巡り会いました。

『失語症者の家族や関係者が会話支援として活動する事は、自分自身に対しての「支援」になっている面もある。会話支援としての活動が、その人自身の気持ちの支えになることもある』

この文を読んで不安が一気に解消されました

実際に実習で他に失語症者と会話することで、母の症状を客観的に見ることができるようになりました。表情をよく見て、ゆっくり話し、書いて会話する大切さを学び、母との会話にも出少しずつ役に立っています。

平成 31 年 3 月に講習実習が終了します。4 月から失語症者意思疎通支援者養成報告活動し、失語症者ご家族に対してお役に立ちたいです。

東京都失語症者向け意思疎通支援者養成講習会を受講して

島津 あすか

失語症を知り関わり始めたのが約 5 年前。知り合いの言語聴覚士に誘われ、失語症友の会に参加したのがきっかけです。失語症について知識はあっても、失語症の方に会ったこともありませんでした。初めての場にとっても緊張したのを覚えています。

数回通い、会員の皆さんにもようやく認識してもらえるようになった頃、定例スピーチのサポートをするようになりました。これでいいのかな・・・と不安に思いながらも、スピーチをする人の隣に立ち、その人のペースや声を感じながら一緒に原稿を読み上げると、本当に一人ひとり症状が異なることに驚きました。でもその違いをその人の特徴としてこちらが理解していれば、話をする上でハードルになることはなく、むしろその人を理解するための鍵のような、特別なものに思えました。

そうして話をするのが楽しくなってきたとき、声が出なくてスピーチができないから友の会を辞める方がいると聞きました。自分の声で話せなくても流暢な合成音声を使ってスピーチができるアプリの開発に携わっている私は、それならばとアプリを使って一緒にスピーチしましょうと持ちかけました。そう言ったもののスピーチは毎回違うテーマが設定され、準備も友の会が始まる前の数分間のみ。声が出ない人からどうやって話したいことを聞き出そうか？言いたいことが伝わらない苛立ちについて「もういい、いい」という仕草をしていたその方も、どうにかしてスピーチ原稿を作ろうとする私に初めは仕方なく付き合ってくれていたと思います。もう今回が最後で友の会に来なくなってしまうかとも思いながら数回、筆談や身振り手振り、クイズのように言いたいことを当てるやり取りが、いつの間にか私たちの間で普通になっていました。あれ？この人しゃべれないから友の会辞めるって言ったのに、私としゃべってるじゃない？言葉は不十分でも通じることをお互いに認識した瞬間でした。声が出にくくても伝えれば伝わらないこともないと自信をつけたその方は、友の会を辞めることなく、今ではアプリも使わず自分でスピーチをしています。

この出来事は私にとっても、自信と、今後も失語症の方のサポートをしたいという意欲につながりました。今、次のステップとして失語症者向け意思疎通支援者養成講座を受講しています。正しい知識の習得と実習による経験を積むことで、家族でなくても、初めての人でも、失語症の方のサポーターになる一歩を踏み出せます。

少しでも失語症の方と失語症をサポートする人の輪が広がることを願いつつ、今の学びを来年度以降発揮できる機会を楽しみにしています。

失語症者向け意思疎通支援者養成事業について

品川失語症友の会 上原裕子

今年度から始まりました事業として当事者、家族の意見をまとめ、今後の要望を書かせて頂きます。8 月には友の会定例会に 2 名自習生が来て下さり解らない所は書きゆくりと話し、説明をして下さったおかげで会もスムーズいき助かりました。10 月 27 日はでか隊 2018 第 4 回目がきゅうりあんで開催され、1 対 1 で自習生 6 名、学生さん達がついた。その為当事者は、ゆったり話ができて、会場内の催しも通訳的な支援を受け積極的に参加した。家族とは違い支援者がつくことで話が通じ、通じた喜びが当事者の自信につながり外に出て他の人とも話したいという意欲になると思います。家族も少しの時間楽になったと言っておりました。私達の友の会では言語聴覚士 1 名、会話パートナー 1 名での現状ですが支援者が多ければ運営も心強いです。会員の中には一人暮らし、家族が病気で面倒が見られない方々が数人います。支援者がいると助かります。

日常生活で困り、支援者がいるといいと思われる時

- 1・交通機関を利用するとき。
- 2・失語症友の会、同障害者の集まりの時。
- 3・家族が高齢者や、体調不良で付き添えない時。
- 4・家族も自分の時間が欲しい時。
- 5・買い物の時。
- 6・飲食店で注文する時。
- 7・通院やリハビリに行く時。
- 8・家族が留守で 1 人になり外出ができない時。
- 9・デイサービスでは言語聴覚士のいる施設が 1 件もありません。支援者がいれば行きやすくなる。

この支援方法が習得できるようになればより良い支援につながると思っています。
何卒宜しくお願い致します。

失語症の家族の立場から講習会に参加してみて

荒井はるみ

父が心原性脳梗塞に倒れたのが 2015 年 12 月約 3 年前のことでした。かろうじて命は助かったものの本人が自分の病状を全く把握できていなくままた右半身不随で動くことも出来ず、声をかけてもただただ怒りの表情で怒鳴るばかりの父に家族は疲れ果てていました。そんな時に区報に載っていた失語症カフェに驚にもすがる思いで母と参加しました。家族としての悩みを聞いてもらい、苦しみを分かってくださる方々に会うことができ心が軽くなりました。そしてそこで聞いたのが、「今年から失語症意思疎通支援者養成講習会が始まる」ということでした。父は怒ってばかりでしたが、孫や友人が来てくれると嬉しそうに笑顔になり昔話には相槌を打ったりしているのでもちのちの言うことを理解はしているようだと感じていました。ただこちらの問いかけに対する返事が yes なのか no なのか汲み取ることが出来ないためイライラつくのではないか、それならばどうにかして汲み取ってあげたいし何かいい手段があるのではないか思い講習会に申し込みました。

講習会に参加する前に父以外の失語症の方と話をする機会がほとんどなく、リハビリ病院でお見かけはしているのですが発音の練習や早口言葉をしてリハビリができていいなと羨望のまなざしで遠目に見ているだけでした。そして実習で出会った失語症の方々も皆さん言葉が出てこなかったり詰まったりすることはあっても上手に話しコミュニケーションも取りやすかったのではこんな会話がスムーズにできる方でも失語症なのだと正直面くらいました。しかし、失語症当事者の方の思いを本人の口から聞くことができ胸にぐっとくるものがありました。「言葉が出てこないのはとてもつらい。苦しくてもどうしても伝えたい」そして言いたい言葉が出てこないときには近い言葉を探して話しているということでした。また、聞き取りは 100% できると断言している方もいました。

このように実際に失語症の方の思いを聞いて、父もこちらの言うことはわかっているという確信の元、yes か no かはつきりわからなくても表情を読み取ってみようという気持ちで父に声掛けをするようになりました。すると、同じ「いいや」の言葉でも yes の意味の「いいや」なのか no の意味の「いいや」なのか何となく聞き分けられるようになり、また父も今までは何回も質問すると「もういい」と怒ってしまっていたのに何回質問しても返事をしてくれるようになりました。

字が読めなく指差しもできないとコミュニケーションボードなどツールを活用することもできなくコミュニケーションをとることがとても大変だと思っていました。講習会に参加し失語症当事者の方と会話する機会を持ったことでコミュニケーションをとるにはまずその人に関心をもって話を聞くこと、そして話をより深く掘り下げて会話ができるように察する力をつけることが大切であるということを学ぶことができました。失語症の方が自分の思いをスムーズに伝えられない苦しみを理解しながら心に寄り添う支援ができるようになりたいと思っています。

「失語症向け意思疎通支援者」に思うこと

東京都調布市失語症友の会「話楽」会長 三浦利昭

いままでの、失語症については、立ち遅れの感があります。

失語症は、言語機能の障害、外から分かり難い目に見えない障害と言えます。失語症は話をしない限り障害の存在自体わからないのが一般的です。失語症当事者にとっては、甚だ難しい病気と言えます。

今まで失語症とは別に、手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳者と言った、聴覚障害者向けに取り組んできたのが比較的多かったと思います。

過去においては、失語症は福祉活動における支援が行われることが少なく、家族の方以外で、第 3 者による支援がまだまだ広がっていないのが現実と思います。

その然したる原因は、失語症の方は、言語機能障害における個人それぞれの能力差が大きく、他の障害等に於ける支援内容が異なることが上げられます。従って意思疎通支援者の養成が長年難しいと思っていました。

平成 28 年度地域生活支援事業の実施要綱では、対象者について失語症を追記し、支障がある障害者全てが対象としています。

これらにより、平成 30 年度から地域生活支援事業の必須事業として行われている、「専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修及び派遣事業」に、晴れて失語症向け事業を追加しています。

また、念願かなって平成 30 年度においては、「失語症向け意思疎通支援者の養成講習会」が始まりました。本当に喜ばしいことと思います。

私達調布失語症友の会「話楽」会員から、2 名の研修生として参加しています。

失語症によって、言いたいことが伝わらず悩んでいる方、言葉を聴いて理解することが難しい方など、症状が重いほど、社会活動への参加は難しくなってしまいます。

そのため、失語症のある人が社会参加を果たすためには、失語症のことを良く理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる人が必要です。

研修生 2 名の方は、ご主人が当事者として毎日接触が有ります。しかしながら、毎日接触がある当事者（ご主人様）と、良い悪いは別にして、毎日の生活実践においては、それぞれの当事者個別的要素が密接に絡めあっています。従って、家族といえども現実難しい面があるのも事実と思います。尚、そうは言っても常々感謝の念でいっぱいだと思います。

先日（11 月 28 日）に、実習により、研修生 2 人、失語症者 2 人、及び言語聴覚士 2 人と、お店訪問をしてきました。然したるトラブルは無かったと思います。強いて言うなら綿密な打合せをすれば、なお良かったと思います。

失語症向け意思疎通支援者の養成講習会において外してほしくないのは、失語症者は、いろいろな障害等を持っています。均一では測れないと思います。

また、失語症者を取り巻く家族や友人、スタッフ、職場の関係者など、障害の度合い状況、具体的接し方、留意すべき点など深い理解が必要と思います。

この点、失語症向け意思疎通支援者の養成講習会に更に深く勉強して欲しいと思います。

ところで、失語症における就業の問題であります。今のままだと就業を含む生活全般に、影を及ぼします。特に復職率 8 % の問題は、解決まで時間が係ると思います。失語症向け意思疎通支援者のみならず、失語症関係者が解決する重要な問題と認識しています。

私は、調布失語症友の会「話楽」を昨年 4 月立ち上げています。

それと同時にこの時期、失語症者にとって大きく変化の時期であります。特に失語症向け意思疎通支援者の具体的活動は、失語症者にとって強烈なインパクトがあります。

私と同じ失語症の方々、そのご家族、失語症の関係者、失語症を勉強している方々に、失語症に関連した諸問題等をいくらかでも情報発信します。また社会貢献活動の一環としてあらゆる機関に還元できれば幸いと思っています。そのためにも、普段から意思疎通支援者役割が必要になってくると思います。

失語症者及びその家族に対し、助け合い励まし合い、幾らかでも生活改善に繋がることを目指しています。また、一般社会に対し失語症の啓蒙活動ができれば幸いと思います。

失語症向け意思疎通支援者の具体的定着化は、これからと思います。

これからなるであろう、意思疎通支援者の、今後のご活躍お祈り申し上げます。

【失語症カフェのお知らせ】

「ワックル」

第15回平成31年2月17日(日)

「家族ワックル」

第5回 平成31年3月10日(日)
(今回のみ第2日曜日に変更します)

午後1時30分から3時30分

【場所】

「言語生活サポートセンター」訓練室
電話番号：03-6915-1877

【参加料】 500円

【後援】 杉並区社会福祉協議会

【申し込み先】


日本失語症協議会
参加希望者は、電話で申し込みください。
担当 藤原・進藤・園田
03-5335-9756 fax03-5335-9757

～今号16ページに目次～

- 1p： 巻頭言
- 2-8p： 友の会だより事務局だより
- 9p： 寄付者名簿
広告：シマダ製作所
- 10-11p： 言語聴覚士のよもやま話・脳トレ
- 12-15p： 特集
『失語症者向け意思疎通支援事業』
- 16p： 失語症カフェ案内・目次・編集後記
広告：株式会社エスコアール

【編集後記】

- 新年を迎えました。平成最後の年と言われているといい変化を期待したいですね。
- 各友の会のお便りに『失語症者向け意思疎通支援者養成講習会』の実習受け入れをしたことがたくさん書かれていました。
- さて全国大会の案内も一緒にお送りしました。私も夫と一緒に参加します。皆さん！大分の別府でお会いしましょう。【進】



CD版
そのままで使える
失語症教材1

監修：鈴木 勉 宇野園子
教材制作スタッフ：約30名の言語聴覚士
CD-ROM (PDF A4判 1116頁) **6,480円**
印刷すればすぐに訓練に使うことができ、
また失語症の方の自習にも役立ちます！

教材は失語症臨床に不可欠です。失語症状は多様であり、また失語症者の背景も様々なので、それぞれのニーズに合った最適な訓練を提供するには、多くの教材を用意しておくことが望ましいと思います。しかし自力で教材を作るには、時間的にも技術的にも限りがあります。そこで多くのSTが力を合わせて様々な教材を作成しました。およそ30名のメンバーにより、約1年かけて4種類の教材ができましたので、それを収めたCDを制作しました。内容は、絵の完成(書く準備)・情景画・4コマ画・文章読解です。
※本教材を使うには、pdfの「しおり」機能が使え Adobe Acrobat Reader DC(無料でダウンロード可能)等が必要です。

絵の完成 (書く準備)	情景画	4コマ画	文章読解
トレース課題 30頁 絵の完成課題 200頁 付録 検索&印刷用アプリ	基本画 10頁 番号付情景画 10頁 単語リスト 10頁	系列画 25頁 漫画 25頁	問題 650頁 解答例 130頁

失語症の方のための 言語訓練帳

著：山本弘子 編：NPO法人日本失語症協議会 A4判 32頁 **864円**
失語症になられた方が「書くこと」「読むこと」を毎日続けることによって、表現する力を取り戻すための本です。

日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者、TVナレーター・言語ボイストレーナー
沼尾ひろ子

脳梗塞により失語症となるが放送業界に復帰！
自身の経験をもとに執筆した書籍をご紹介します

NEW
失語症になった私から医療の現場で働くみなさんへ38のメッセージ
A5判 198頁 **2,160円**
著者が、突然の脳梗塞からの失語症によって全てのコミュニケーション機能を失った体験を元に、失語症患者との具体的なコミュニケーション方法を紹介しています。様々なシーンに応用できる内容です。

音でわかってすぐに使える 失語症ことばの手帳 音声ペン対応

手帳+音声ペン **12,096円** 手帳のみ **3,024円**
日常生活でよく使うさまざまなフレーズや、災害・事故・病気の時にお使いいただけるフレーズを厳選しています。いつでもどこでもトレーニングができ、いざというときには音声ペンがあなたの代わりに言葉を伝えます。

よくわかる失語症ことばの攻略本

- 音読編 音声ペン対応
B5判 92頁 **1,404円**
- ことば体操編 オールカラーイラスト
B5判 98頁 **1,620円**